

本資料は抜粋となっております。全ての内容を書き込んだ記憶媒体を当センターにて配付しております。詳細については下記までお問い合わせください。

連絡先

電話 : 0270-26-9208

FAX : 0270-20-1284

E-mail : karisen@edu-g.gsn.ed.jp (@を半角に)

プレゼン資料〔教職員〕

SNS等の危険性と 人間関係づくりの必要性



考えよう② 被害児童生徒が被疑者と会った理由は？



「優しかった、相談に乗ってくれた」
(22.9%)



優しかった
相談に乗ってくれた
寂しかった
全体の1/4

「寂しかった」(1.8%)



(参考) 警察庁「SNS等に起因する被害児童の現状と対策について」(2018)

プレゼン資料〔保護者〕

SNS等の危険性と人間関係づくりの必要性



お悩み相談ロールプレイ(家庭版)等

お父さん、お母さん
に話してよかった!!



どうかしたの？
何かあった？

話してくれて、
ありがとう。

家庭でも、安心して何でも話せる環境を
整えておくことが大切です!!

「ハートフルプログラム」共通理解リーフレット

SNS等の危険性と人間関係づくりの必要性



スマートフォンの個人保有率は、年々増加しています。特に、20～40代の保有率は、約90%になっています。



子供たちのスマートフォン利用率は…
高校生…95.9% 中学生…58.1% 小学生…29.9%

(参考) 内閣府 2017年度青少年のインターネット利用環境実態調査



スマートフォンで何をしているの？

SNSの利用が多いようです。総務省の調査では、SNSの利用時間が長くなっていることが10代の特徴であるという結果があります。



SNSとは、Social(ソーシャル)、Networking(ネットワーキング)、Service(サービス)のことです。
「人と人のつながり=コミュニケーション」をインターネット上で可能にしてくれるサービスやサイトです。

SNS等とは…

代表的なSNSに、「Facebook(フェイスブック)」「Twitter(ツイッター)」「Instagram(インスタグラム)」等があります。動画共有サイトの「YouTube(ユーチューブ)」や、メッセージアプリの「LINE(ライン)」等を含めて、SNS等とします。SNS等には、子供たちが持っているゲーム機で利用できるものもあります。



SNS等は便利？
だけど…

誰でも手軽に使えるので、情報発信や情報交換の場として世界中の人が利用しています。



子供にも便利
大人にも便利



しかし…

SNSを悪用しようとする人にも
便利なのです!!

SNS等は、とても便利!!

しかし、使い方によっては危険や怖さが潜んでいるかもしれません…



昨今、SNS等を通じて児童生徒が犯罪に巻き込まれる例が増えています(図1)。

平成29年の被害児童は、1813人
高校生…941人(51.9%)
中学生…676人(37.3%)

合わせて
約9割!!

小学生(41人)も
被害に遭っています!!

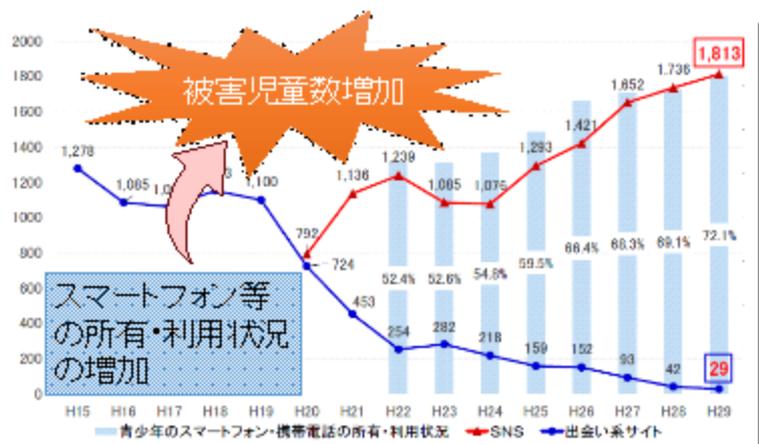


図1 SNS等に起因する事犯の被害児童推移

(出典)警察庁「SNS等に起因する被害児童の現状と対策について」(2018.4)

SNS等による被害事例

罪種別内訳 (H29)

- ①青少年保護育成条例違反…702人
(淫行や深夜の連れ回しなど)
- ②児童ポルノ…570人
(自画撮り被害など)
- ③児童買春…447人
- ④重要犯罪…61人
(強制性交、略取誘拐、強制わいせつなど)
- ⑤児童福祉法違反…33人

(参考)警察庁「SNS等に起因する被害児童の現状と対策について」(2018)

SNSでは趣味が合う良い人だったのに

実際に会うと恐い人だった



この子、すごく話が合うしSNSでみんなに好かれてるしヤッター！嬉しい！

Hさんは、同じバンドのファンの子供高生とSNSでよく話をしていました。ある時「ライブのチケットが余分にあるから一緒に行こう！」と誘われました。



ライブ当日、待ち合わせ場所に行ってみると、SNSの写真とはまったく違う男の人で、チケットの話もウソ。無理やり車に乗せられそうになりました。

(出典)総務省「インターネットトラブル事例集」(2018)

被害児童生徒が被疑者と会った理由

「優しくかった、相談に乗ってくれた、寂しかった」(24.7%)

全体の1/4

(参考)警察庁「SNS等に起因する被害児童の現状と対策について」(2018)

「インターネット空間を自分の居場所」だと感じている若者の割合

62.1%

(参考)内閣府「子供・若者白書」(2017)

SNS等に相談相手や、自分の居場所を求めている児童生徒がいることが分かります。



身近にいる大人や友達に相談しないのは、なぜでしょうか？



安心して、何でも話せる人間関係ができていなかったのかもしれない…



知らない人から「ちょっと話さない」



そこで、国や県では…

内閣府「平成29年度版子供・若者白書」には、

「何かあった時に支えとなってくれる人との関わりを築いておくことが大切である」と明記されています。

群馬県教育委員会「児童生徒の被害未然防止について(通知)」では、

「児童生徒がSNS等に頼らない人間関係づくりへの意識を高めていけるよう(中略)互いに認め合い、支え合うことのできるような意識の醸成を図る取組を進めていくこと」を求めています。

つまり…

互いに支え合う人間関係づくりが必要!!



ちょっと話を聞いてほしいんだけど…

うん、いいよ。どうしたの？



お父さん、お母さんに話してよかった!!



どうしたの？何かあった？

話してくれて、ありがとう。

学校や家庭において、何でも安心して話せる環境を整えておくことが大切!!

保護者の皆様へ

学校では、学級活動で人間関係づくりに向けた取組を実践していきます。保護者の皆様にも、子供たちの互いに支え合う人間関係づくりへのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。授業後にご家庭で、「お悩み相談ロールプレイ」を行い、感想を書いていただくことがあります。お忙しい中とは存じますが、ご協力をよろしくお願いいたします。



内閣府の調査で、子供たちの「悩みや心配ごとの相談相手」は、第1位母親、第3位父親という結果があります。子供たちにとって、保護者の方々は、大きな支えです。学校と家庭で協力して子供たちの人間関係づくりを支援していきましょう!!

プレゼン資料〔児童生徒〕

身近な人との人間関係について考えよう!! ～SNSのきけん性と人間関係って?～



考えよう!

事件やトラブルにまきこまれないように
するためには、
身近な人とのどんな関係が大切な
のでしょうか？



こまっている友達がいるとき…



自分がなやみをかかえたとき…



日じょう生活から…

学級活動〔第1時〕の概要

身近な人と支え合おう

～「お悩み相談ロールプレイ」をしよう～

| | 指導内容・活動内容等 | 使用する資料 |
|----|--|--|
| 事前 | 【保護者】 共通理解を図り、学級活動等への協力を依頼をする。 | ①プレゼン資料〔保護者〕(保護者会等) ②共通理解リーフレット(配付) |
| | 【代表児童生徒】 ロールプレイのお手本2名 代表児童生徒へロールプレイの指導を行う。 | ③ロールプレイのシナリオ(お手本用) |
| 本時 | 1 SNS等の危険性と人間関係の大切さを理解し、議題を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">議題：友達と支え合うために、「相手が話しやすい聴き方のポイント」について考えよう。</div> | ④プレゼン資料〔児童生徒〕 ⑤ポスター「身近な人との支え合う人間関係づくり」 |
| | 2 「お悩み相談ロールプレイ」で親身になった聴き方とそうでない聴き方を疑似体験する。 ・お手本を見てロールプレイを行い、感想を発表する。 | ⑥「聴く」「聞く」の意味 ③ロールプレイのシナリオ(お手本用) |
| | 3 ロールプレイを基に、「相手が話しやすい聴き方のポイント」について、共通理解を図る。 ・グループで話し合い、全体で発表する。 | ⑦ロールプレイの役割表示(お手本用) ⑧ワークシート「お悩み相談ロールプレイ」 |
| | 4 本時を振り返り、事後活動でやることを知る。 | ⑨グループ用ワークシート「相手が話しやすい聴き方のポイント」 ⑩ワークシート「お悩み相談ロールプレイ(家庭版)」(子供用) ⑪ロールプレイのシナリオ「お悩み相談ロールプレイ(家庭版)」(保護者用) |
| 事後 | 【児童生徒】 (1)グループの「相手が話しやすい聴き方のポイント」を清書する。 (2)「相手が話しやすい聴き方のポイント」を心掛けて生活する。 | ⑨グループ用ワークシート「相手が話しやすい聴き方のポイント」 |
| | 【児童生徒・保護者】 家庭でロールプレイを行い、感想を書く。 | ⑩ワークシート「お悩み相談ロールプレイ(家庭版)」(子供用) ⑪ロールプレイのシナリオ「お悩み相談ロールプレイ(家庭版)」(保護者用) |
| | 【教師】 (1)「相手が話しやすい聴き方のポイント」を掲示する。 (2)児童生徒の生活の様子を見取る。 | ⑫支え合い見取りシート1 |

※ ①～⑫の資料は、「ハートフルプログラム」メニュー画面の学級活動(一括版)にあります。



おなやみ相談ロールプレイ

月 日 () 【学活】

年 組 名前 ()

1 ロールプレイをして、相手が話しやすい聞き方について考えよう。

【 やり方 】

- ① 役を決め  「なやみさん」 (なやみを話す役)  「きくよさん」 (なやみを聴く役)
- ② 【シナリオ1】と【シナリオ2】の2回目は、1回目と役を交代して行う。
- ③ 【シナリオ1】の「きくよさん」は、このプリントから目をはなさずにセリフを言う。
 【シナリオ2】は、なるべく「なやみさん」の顔を見ながら言う。

役になりきって
やろう!



【シナリオ1】

| | |
|-----|--|
| なやみ | (本を読んでいる「きくよさん」に「なやみさん」が話しかける設定です。) きくよさん、ちょっと話を聴いてほしいんだけど、いい? |
| きくよ | (このプリントから目をはなさずに)う～ん。 |
| なやみ | 実は、なやみがあるんだけど、聴いてくれる? |
| きくよ | (めんどくさそうに)え～。 |
| なやみ | 最近、Aさんにさげられている気がするんだ。 |
| きくよ | (冷たく)気にしすぎなんじゃないの? |
| なやみ | Aさんをさそわないで、ほかの子とえい画を見に行ったから、気を悪くしたのかも。 |
| きくよ | (冷たく)そのくらいで? |
| なやみ | Aさんも行きたかったのかもしれない。Aさんに何て声をかければいいのか? |
| きくよ | (めんどくさそうに)う～ん。 |
| なやみ | ・・・うまく行くか心配。 |
| きくよ | (冷たく)じゃあ、声かけるのやめれば? |
| なやみ | ・・・。 |

【シナリオ2】

| | |
|-----|--|
| なやみ | (本を読んでいる「きくよさん」に「なやみさん」が話しかける設定です。) きくよさん、ちょっと話を聴いてほしいんだけど、いい? |
| きくよ | (このプリントをおいて、Aさんの方を見て) うん、いいよ。どうしたの? |
| なやみ | 実は、なやみがあるんだけど、聴いてくれる? |
| きくよ | (心配そうに)もちろんいいよ。なやみってどんなこと? |

意味が合っていれば、セリフを少しまちがえても大丈夫。きくよさん役は、なるべくなやみさん役の方を見て言おう。



| | |
|-----|--|
| なやみ | <small>さいきん</small> 最近、Aさんにさけられている気がするんだ。 |
| きくよ | <small>しんぱい ひょうじょう</small> (心配そうな表情で)それはつらいね。何かきっかけがあったの？ |
| なやみ | Aさんをさそわないで、ほかの子とえい画を見に行ったから、気を悪くしたのかも。 |
| きくよ | それがきっかけだと思うんだね。 |
| なやみ | うん。Aさんも行きたかったのかもしれない。Aさんに何て声をかければいいかな？ |
| きくよ | Aさんにさけられている気がして悲しいって伝えてみたら？ |
| なやみ | そうだね。でも・・・うまく行くか心配。 |
| きくよ | <small>ひょうじょう しんぱい</small> (やさしい表情で)心配だよ。Aさんに気持ちが伝わるようにいっしょに考えよう。 |
| なやみ | <small>ゆうき</small> ありがとう。ちょっと勇気が出てきた。 |

2 グループで「相手が話しやすい聴き方のポイント」について話し合おう。

どのように聴くと相手がなやみを話しやすいか、自分の考えを書こう。

3 ふり返ろう！

1. SNS等のきけんせいについて理解できましたか？ (一つに○をつける。)

りかい よく理解できた りかい 理解できた りかい あまり理解できなかった りかい 理解できなかった

2. 人間関係の大切さについて理解できましたか？ (一つに○をつける。)

りかい よく理解できた りかい 理解できた りかい あまり理解できなかった りかい 理解できなかった



3. 相手が話しやすい聴き方のポイントを友達と話し合って決めることができましたか。

よくできた できた あまりできなかった できなかった

4. この時間の感想を書きましょう。

おなやみ相談ロールプレイ(家庭ばん)

年 組 (子供用)

ロールプレイをした日 月 日 () 年 組 名前 ()

◎ 家の人になやみ相談ロールプレイをすることをお願いし、やり方を説明してから始めよう。

1. 家の人と二つの聴き方を体験しよう。 ※だれとやったか書きましょう。

- ・役 なやみを話す役・・・家の人(※) なやみを聴く役・・・自分
- ・1回目と2回目があります。家の方は、2回とも同じセリフです。子供は、1回目と2回目でセリフが変わります。

【シナリオ1】

|  なやみを話す役：家の人 (1回目も2回目も 同じセリフを言う。) | なやみを聴く役：自分 (1回目) ※相手の方を見ず、めんど うくさそうに、冷たく言う。 |  なやみを聴く役：自分 (2回目) ※相手の方を見て、心配そうな ひょうじょうと言い方で言う。 |
|--|---|--|
| (つらそうな感じで) ①ねえ、ちょっと聴いてくれる？ ②何だか最近調子が悪いんだ。 ③のどがいたくて、つらいんだよ。 ④かぜかもしれない。 ⑤寒気(さむけ)がする。 ⑥熱を計ってみようかな。 | (本から目をはなせずに) ①う～ん。 ②へえ～。 ③へえ～。 ④へえ～。 ⑤気のせいじゃない？ ⑥計れば？ | (本を読むのをやめて家の人の方を見て) ①いいよ。どうしたの？ ②だいじょうぶ？ ③それは大変だね。 ④そうかもね。のどのほかには？ ⑤寒気(さむけ)？ 熱があるかもしれないね。 ⑥そうだね。今、体温計を持ってくるよ。 |



家の人に感想を聞き、2回目このが好ましい聴き方であることを伝えよう。

2. 相手が話しやすい聴き方で、家の人とロールプレイをしよう。

- ・グループで話し合った「相手が話しやすい聴き方のポイント」には、どんなことがあったか、家の人に話してからロールプレイをしましょう。
- ・家の人に、「相手が話しやすい聴き方」を心がけていただきましょう。



【シナリオ2】

| | |
|-----|--|
| 自分 | (テレビを見ている家の人に子どもが話しかける。) ねえ、〇〇さん、ちょっと話を聴いてほしいんだけど、いい？ |
| 家の人 | (テレビを消して、子ども方を見て) うん、いいよ。どうしたの？ |
| 子供 | 実は、なやんでいることがあるんだ。 |
| 家の人 | (心配そうに) そうなんだ。なやんでいるんだね。どんなこと？ |
| 子供 | 友達のAさんとうまくいってなくて、Aさんにさげられている気がするんだ。 |

家の人 さけられるって気がするんだね。Aさんと何かあったの？

子供 この間、ほかの子とえい画を見に行ったら、それからよそよそしくなったんだよね。ぼく（私が）悪かったのかな。 (※よそよそしい…したしみのない感じ。)

家の人 どんなところが悪いと思うの？

子供 Aさんをさそわないでほかの子と行っちゃったところかな。

家の人 その点は、よくなかったと思ってるんだね。

子供 うん。思ってる。

家の人 そうか～。それで、Aさんとはどうしたいの？

子供 仲直りしたい。でも・・・どう切り出したらいいのか。

家の人 仲直りしてほしいなあ。切り出し方ってむずかしいね。

子供 う～ん・・・。

家の人 Aさんにさけられているような気がして悲しいって伝えてみたら？

子供 そうだね。でも・・・うまく行くか心配。

家の人 心配だよね。悲しい気持ちでいるってことが伝わるといいね。

子供 うん。聞いてくれてありがとう。勇気が出てきた。どう切り出したらいいか考えてみる。・・・また相談に乗ってくれる？

家の人 もちろん。相談してくれてうれしかったよ。いつでも相談してね。

3. 家の人とロールプレイをした感想を書こう。

ロールプレイをしていただいたおれいを伝えて、家の人にも書いていただきましょう。



| 自分 | おうちの方 |
|---|---|
| <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>年 組 名前 ()</p> | <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>() より</p> |

※ 月 日 ()^{ていしゅつ}までに提出してください。

お悩み相談ロールプレイ(家庭版)

(保護者用)

- ◎ 学級活動で、身近な人との支え合いの活動として「お悩み相談ロールプレイ」を行いました。ご家庭でもお子さんと取り組んでください。ご協力をよろしくお願い致します。お子さんの説明を聞いて、ロールプレイを行ってください。

【シナリオ1】 ○ お子さんと二つの聴き方を体験してください。

|  悩みを話す役：家の人 (1回目も2回目も同じセリフを言う。) | 悩みを聴く役：子ども (1回目) |  悩みを聴く役：子ども (2回目) |
|--|----------------------------|---|
| (つらそうな感じで) | (本から目をはなさずに) | (本を読むのをやめて家の人の方を見て) |
| ①ねえ、ちょっと聴いてくれる？ | ①う～ん。 | ①いいよ。どうしたの？ |
| ②何だか最近調子が悪いんだ。 | ②へえ～。 | ②大丈夫？ |
| ③のどが痛くてつらいんだよ。 | ③へえ～。 | ③それは大変だね。 |
| ④かぜかもしれない。 | ④へえ～。 | ④そうかもね。のどのほかには？ |
| ⑤寒気がする。 | ⑤気のせいじゃない？ | ⑤寒気？熱があるかもしれないね。 |
| ⑥熱を計ってみようかな。 | ⑥計れば？ | ⑥そうだね。今、体温計を持ってくるよ。 |

お子さんに感想をお話してください。どちらが好ましい聴き方でしょう？



【シナリオ2】

- 「相手が話しやすい聴き方のポイント」をお子さんから聴き、それを心掛けて行ってください。

| | |
|-----|---|
| 自分 | (テレビを見ている家の人に子どもが話しかける。) |
| 家の人 | ねえ、〇〇さん、ちょっと話を聴いてほしいんだけど、いい？ |
| 子ども | (テレビを消して、子供の方を見て) うん、いいよ。どうしたの？ |
| 家の人 | 実は、悩んでいることがあるんだ。 |
| 子ども | (心配そうに) そうなんだ。悩んでいるんだね。どんなこと？ |
| 家の人 | 友達のAさんとうまくいってなくて、Aさんにさけられている気がするんだ。 |
| 子ども | 避けられるって気がするんだね。Aさんと何かあったの？ |
| 家の人 | この間、他の子と映画を見に行ったら、それからよそよそしくなったんだよね。ぼく(私)が悪かったのかな。 |
| 子ども | どんなところが悪いと思うの？ |
| 家の人 | Aさんを誘わないで他の子と行っちゃったところかな。 |
| 子ども | その点は、よくなかったと思ってるんだね。 |
| 家の人 | うん。思ってる。 |
| 子ども | そうか～。それで、Aさんとはどうしたいの？ |
| 家の人 | 仲直りしたい。でも・・・どう切り出したらいいの？ |
| 子ども | 仲直りしてほしいなあ。切り出し方って難しいね。 |
| 家の人 | う～ん・・・。 |
| 子ども | Aさんに避けられているような気がして悲しいって伝えてみたら？ |
| 家の人 | そうだね。でも・・・うまく行くか心配。 |
| 子ども | (優しい表情で) 心配だよ。悲しい気持ちでいるってことが伝わるといいね。 |
| 家の人 | うん。聴いてくれてありがとう。勇気が出てきた。どう切り出したらいいか考えてみる。・・・また相談に乗ってくれる？ |
| 子ども | (優しい表情で) もちろん。相談してくれて嬉しかったよ。いつでも相談してね。 |

- ◎ ロールプレイへのご協力ありがとうございました。児童用のワークシートに保護者の方にも感想を書いていただく欄があります。お忙しいところ大変申し訳ありませんが、記入してお子さんに持たせてください。 ※ しめ切り 月 日 ()



学級活動(第2時)の概要

身近な人と支え合おう

～「ぼくたち私たちにできること」をしよう～

| | 指導内容・活動内容等 | 使用する資料 |
|----|--|---|
| 事前 | <p>【教師】</p> <p>第1時にグループでまとめた「相手が話しやすい聴き方のポイント」を模造紙等に貼り、教室に掲示する。</p> | ①掲示物「相手が話しやすい聴き方のポイント」 |
| 本時 | <p>1 「お悩み相談ロールプレイ」と第1時の事後活動の様子を振り返り、本時のねらいを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ねらい：友達と支え合うために、「ぼくたち私たちにできること」を考え、「友達サポート週間」にチャレンジしよう。</p> </div> <p>2 第1時後の1週間で「相手が話しやすい聴き方のポイント」を心掛けられた、また、心掛けることができなかったことを振り返り、自分にできることを考える。</p> <p>3 本時を振り返り、事後活動でやることを知る。</p> | <p>②ワークシート「ぼくたち私たちにできること」</p> <p>③友達サポート週間チャレンジカード</p> <p>④ワークシート「ぼくたち私たちにできること」</p> <p>④掲示用「友達サポート週間チャレンジカード」</p> <p>⑤ポスター「友達サポート週間」</p> |
| 事後 | <p>【児童生徒】</p> <p>(1) 第2時の1週間、「友達サポート週間」で、自分が決めたことに取り組み、毎日記録する。</p> <p>(2) 1週間後、「友達サポート週間チャレンジカード」を用いて、振り返りを行う。</p> <p>(3) 児童生徒向けリーフレットを読んで、悩んだときの参考にしたり、今後も支え合おうとする意欲を高めたりする。</p> | <p>③友達サポート週間チャレンジカード</p> <p>⑥児童生徒向け啓発リーフレット</p> |
| | <p>【教師】</p> <p>「友達サポート週間」の児童生徒の取組を見取る。</p> | ⑤ポスター「友達サポート週間」 ⑦支え合い見取りシート2 |
| | <p>【保護者】</p> <p>保護者会等で、児童生徒の人間関係づくりの支援継続を啓発する。</p> | ⑧保護者向け啓発リーフレット(配付) |

※ ①～⑧の資料は、「ハートフルプログラム」メニュー画面の学級活動(一括版)にあります。



ぼくたち私たちにできること

月 日 () 【学活】

年 組 名前 ()

1 この1週間で「相手が話しやすい聴き方のポイント」を心がけて生活した中で、できたこととできなかったことをふり返ろう。

| | |
|---------|------------|
| ☆できたこと☆ | ★できなかったこと★ |
| | |

2 互いに支え合うために、自分ができていることを考えよう。

やること ※この時間にやるのは、③まで。

- ① 自分ができそうなことを考えて書き出す。
- ② グループで意見を出し合う。友達のアイデアやアドバイスを参考にしよう！
- ③ 自分ができそうなことを一つ決めて、「友達サポート週間チャレンジカード」に書く。
- ④ 事後活動「友達サポート週間」で、実行する。

まず、自分ができそうなことを書き出そう。

自分にできることを決めて、チャレンジしよう！



3 ふり返ろう！

1. 支え合いとして自分ができそうなことを考えて、グループで意見を出し合えましたか？
(一つに○をつける。)

よくできた できた あまりできなかった

2. 友達の意見を参考に、「友達サポート週間」で取り組むことを決められましたか？
(一つに○をつける。)

よくできた できた あまりできなかった (これに○をつけた人は、先生に相談してね！)

3. この時間の感想を書きましょう。

| | |
|--|--|
| | |
|--|--|

☺ 友達サポート週間チャレンジカード ☺

★ 友達と支え合うために自分ができることを考え、友達サポートにチャレンジしよう！

年 組 番 名前()

| | | | | | |
|--|-------|-------|-------|-------|-------|
| 自分ができること | | | | | |
| 日 付 | / () | / () | / () | / () | / () |
| 自己評価 ◎:よくできた ○:できた △:やってみただけ、もう一息 /:やるチャンスがなかった | | | | | |
| 今日の感想 ◎ 自分の取組 <small>とりぐみ</small> について 振り返りましょう。 | | | | | |
| メモ ◎ 友達の支え合いを見て、 良いと思ったことをメモして おきましょう。 | | | | | |

☺「友達サポート週間」の感想

☺先生より



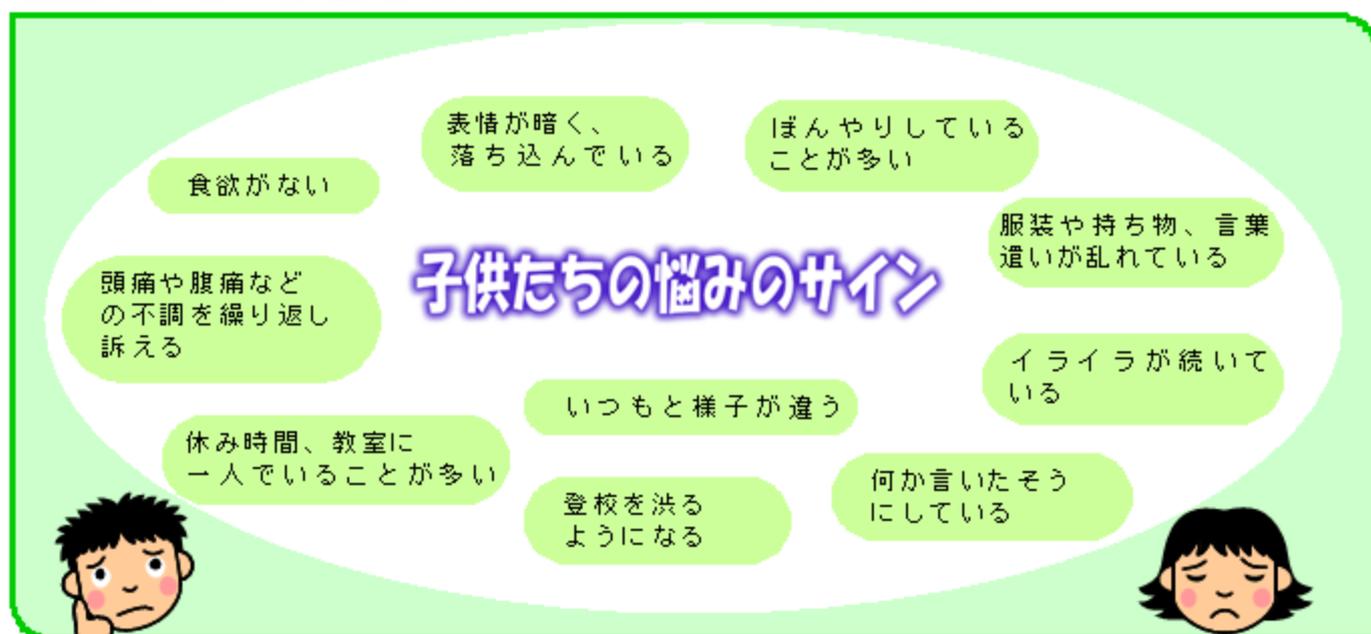
ひとはみんなのために みんなはひとりのために

君がみんなのサポーター！ みんなが君のサポーター！

大人は子供のサポーター！

子供たちの人間関係づくりを 応援しましょう！

悩みや不安を抱えている子はいませんか？



「ハートフルプログラム」では、
何でも安心して話せる環境を整え、
互いに支え合う児童生徒の育成を目指します。



何でも安心して話せる環境を整えておくためには、**児童生徒同士、児童生徒と教職員の信頼関係**を築き、学校において児童生徒一人一人が安心できる「**絆づくり**」「**居場所づくり**」が必要です。また、家庭においても安心できる居場所が必要です。そのために**教職員と保護者の協力体制**のもと、保護者と共に児童生徒を指導・支援していくことが大切です。



そこで、互いに支え合う児童生徒の育成を目指した人間関係づくりを更に充実させるために、日頃の取組を振り返るとともに今後の実践に向けた参考資料としてこのリーフレットをご活用いただければと思います。

1 教職員と児童生徒との信頼関係を築きましょう!!

振り返ろう①

- 自分の方から、児童生徒に挨拶している
- 児童生徒と関わる際には、しっかり顔と心を向けている
- 休み時間や放課後など、できるだけ多くの児童生徒と触れ合う時間を確保している
- 遅刻・欠席した場合には、家庭と連絡を取り、児童生徒の状況を把握している
- どの児童生徒に対しても、公平に分け隔てなく接している
- 児童生徒一人一人のよいところや得意なところを見付けて、肯定的な声掛けをしている
- 児童生徒の言葉遣いや行動、表情や顔色等の様子に注目し、一人一人の状態を読み取っている
- 児童生徒の気持ちを言葉で表したり、共感的な言葉掛けをしたりしている



児童生徒と教職員が信頼関係を築くポイント

- ◇児童生徒一人一人に関心を示す
- ◇児童生徒一人一人に積極的に関わる
- ◇共感的な理解を心掛け、誠実な態度を示す
- ◇児童生徒を肯定的に受け止める
- ◇教師自身が自己開示をする

子供の悩みを聴くときは…

- まずは、否定せずに話を聴きましょう
- 子供の気持ちに寄り添い、理解しましょう
- 支えたい、見守っているという気持ちを伝えましょう

信頼関係は、教職員の児童生徒に対する日頃の接し方や言動によってつくられるもの。一般的に、コミュニケーションで伝わる内容は、言語的内容は30%で、非言語的内容が70%と言われています。教職員は言葉だけでなく、言葉と同じメッセージを態度でも伝える必要があります。

(参考)「生徒指導提要」

非言語的内容とは、表情、声の大きさや速さ、ジェスチャー、姿勢や態度等のことです。



「つらかったね」
「がんばっているんだね」



「一人じゃないよ」
「一緒に考えよう」
「いつでも相談してね」



日頃の児童生徒との関わりを大切にして、信頼関係を築き、安心して相談できるような環境を整えておきましょう!!

「絆づくり」と「居場所づくり」の違い

「絆づくり」とは、主体的に取り組む共同的な活動を通して、児童生徒自らが、「絆」を感じ取り、紡いでいくことを指しています。「絆づくり」を進めるのは児童生徒自身であり、教職員に求められるのはそのための「場づくり（場や機会の提供）」、いわば黒子の役割と言えます。

「居場所づくり」とは、児童生徒が安心できる、自己存在感や充実感を感じられる場所をつくりだすことを指しています。すなわち、教職員が児童生徒のためにそうした「場づくり」を進めることであり、児童生徒はそれを享受する存在と言えます。

(参考)『生徒指導リーフ Leaf.2』国立教育政策研究所(平成27年3月)

児童生徒にとって、学校に“心の居場所”があることは、とても大切です。学級や学校が、どの児童生徒にも落ち着ける場所となる「居場所づくり」が必要です。

児童生徒が絆をつくる! 教職員が居場所をつくる!

2 児童生徒同士の関係づくりを指導・支援していきましょう!!

振り返る②

- 児童生徒が自己を見つめたり、他者の理解を深めたりできるようなグループワーク等の体験活動を実施している
- 話の聴き方や話し方など、児童生徒同士の関係づくりのためのスキルを身に付けることができる取組をしている
- 困っている友達を助けているような言動を取り上げて、褒めている
- 友達を気遣い、配慮した言動を取り上げて、褒めている

教職員による安心・安全な学校・学級づくりが進むと、子供たち同士の信頼関係を深めていくことにもつながります。



学級集団・ホームルーム集団の人間関係づくり

児童生徒が自他の個性を尊重し、互いの身になって考え、相手のよさを見つけようとする集団、互いに協力し合い、主体的によりよい人間関係を形成していこうとする集団、言い換えれば、好ましい人間関係を基盤に豊かな集団生活が営まれる学級やホームルームの教育的環境を形成していくことが必要です。また、児童生徒のコミュニケーション能力を高め、開かれた人間関係づくりを進めることが大切です。

こうした取組を通して、学級・ホームルームにおいて児童生徒一人一人が存在感をもち、共感的な人間関係を育む「心の居場所」としての集団が創り上げられ、その中で、児童生徒は互いの絆を深め、自己実現を図っていくことができるようになるでしょう。

(参考)『生徒指導提要』文部科学省(平成22年3月)

互いに支え合う人間関係づくり、絆づくり、仲間づくり…

学級開き、クラスでの交流、行事、学年の枠を越えた関わりの場面等で、活用することのできる様々な手法もあります。



< 役立つ手法例 >

ソーシャルスキル トレーニング

様々な社会的技能をトレーニングにより、育てる方法です。「相手を理解する」「自分の思いや考えを適切に伝える」「人間関係を円滑にする」「集団行動に参加する」などがトレーニングの目標となります。

ライフスキルトレーニング

自分の身体や心、命を守り、健康に生きるためのトレーニングです。「セルフエスティーム(自尊心)の維持」「意志決定スキル」「自己主張コミュニケーション」「目標設定スキル」などの獲得を目指します。

ピア・サポート活動

児童生徒の社会的スキルを段階的に育て、児童生徒同士が互いに支え合う関係をつくるためのプログラムです。「ウォーミングアップ」「主活動」「振り返り」という流れを単位として、段階的に積み重ねます。

アサーショントレーニング

「主張訓練」と訳されます。対人場面で自分の伝えたいことをしっかり伝えるためのトレーニングです。葛藤場面での自己表現や、他者との関わりをより円滑にする社会的行動の獲得を目指します。

グループエンカウンター

グループ体験を通して他者に出会い、自分に出会います。人間関係づくりや相互理解、協力して問題解決する力などが育成されます。集団のもつプラスの力を最大限に引き出す方法といえます。

ストレスマネジメント教育

様々なストレスに対する対処法を学ぶ手法です。始めにストレスについての知識を学び、その後「リラクゼーション」「コーピング(対処法)」を学習します。危機対応などによく活用されます。

アンガーマネジメント

自分の中に生じた怒りの対処法を段階的に学ぶ方法です。「キレル」行動に対して「キレル前の身体感覚に焦点を当てる」「身体感覚を外在化しコントロールの対象とする」「感情のコントロールについて会話する」などの段階を踏んで怒りなどの否定的感情をコントロール可能な形に変えます。
また、呼吸法、動作法などリラクセスする方法を学ぶやり方もあります。

(参考)『生徒指導提要』文部科学省(平成22年3月)

困っている友達を助ける雰囲気づくり 何でも言い合える雰囲気づくりが大切!!

3 校内で協働体制を構築し、全教職員で取り組みましょう!!

困ったことがあれば、気兼ねなく相談できる教職員集団づくり、個々の児童生徒や学級集団の気になる動きや変化に、気づき合い、支え合える教職員の人間関係づくりも大切です。

気になる子がいるんだけど、どう対応したらよいのかな?

来週の面談で、〇〇さんの保護者とは、どのような話をしたらよいのかな?

学年会で情報を共有し、みんなで考えていこう!!

私は、こんな取組をしているよ。

日常生活の中で気になることを、気軽に話題にして、情報を共有しましょう。

今朝、〇〇さんが笑顔で挨拶してくれましたよ。

授業中、〇〇さんの表情があまりよくなって、ぼんやりしている様子でしたよ。

最近、〇〇さんがよく保健室に来るのですが、クラスでの様子はどうですか?

〇〇さんの言葉遣いが気になります。クラスでの様子はどうですか?

休み時間に、〇〇さんが泣いていましたよ。先生、事情を知っていますか?

一人で抱え込まずチームで対応しよう!! 教職員も互いに支え合いましょう!!

4 保護者との協力体制を築くことが大切!!

振り返る③

- 学校や家庭での子供の様子について、保護者と情報を共有している
- 子供のよいところや得意なところを保護者に知らせている
- 保護者会などで、保護者同士の関係を深めるような取組をしている
- 子供への支援の仕方等について、保護者と共通理解を図っている
- 家庭で実践できる取組を紹介し、保護者を巻き込む取組を実践している

日頃から児童生徒のよい点を積極的に保護者へ発信していくことが、学校と保護者の信頼関係を築くことにつながります。発信方法として、学級だよりや学年だより、面談や保護者会、電話連絡等があります。学校と保護者で協力体制をつくり、子供たちをよい方向へサポートしていきましょう!!

保護者会で、保護者同士の関係づくりのために、グループワークやエンカウンター等を取り入れてみてはどうでしょう? 保護者同士も笑顔になり、その後の話し合いも和やかに進むかもしれません。

<保護者懇談会での実践例>

- ①アイスブレイク
「魂の握手」「ジャンケンハイタッチ」
- ②「バースティライン」でグループづくり
- ③「ネームゲーム」で互いに名前を覚える
- ④「自己紹介」(子供を肯定的に)

(参考)『エンカウンターで保護者会が変わる』図書文化社

学校と保護者は、児童生徒の人間関係づくりをサポートする協働パートナー!!

<参考資料>

- 「生徒指導提要」文部科学省(平成22年3月)
- 「生徒指導リーフ Leaf2」国立教育政策研究所(平成27年3月)
- 「エンカウンターで保護者会が変わる」図書文化社(平成21年11月)
- 「学級経営についての自己チェックリスト解説～お互いを認め合える学級を目指して～」
選手市教育委員会(平成27年4月)
- 「大切にしたい教師の言葉 愛知県教育委員会『生徒指導リーフ』NO.1」愛知県教育委員会(平成25年3月)

君がみんなのサポーター！ みんなが君のサポーター！

友達との支え合いを大切にしよう！

なやみや不安などがあつたとき相談できるように、日ごろから、何かあつたとき支え合える関係をつくっておくことが大切です。これからも友達との支え合いを大切にし、絆（きずな）を深めていきましょう！



① 支え合おう

元気が
ない

落ちこん
でいる

表じょうが
暗い

だれかに聴いて
ほしいな

何か言い
たそう

一人で
さみしそう

無理して元気そうに
している

学校に来るのが
つらそう

ぼんやりして
いることが多い

こまっていることが
ありそう



あなたの周りに、左のような様子の友達はいませんか？もしかしたら、不安やなやみを言い出せず、一人でつらい思いをしているかもしれません。友達の様子を見て、なやみのサインがもしれないと思ったら、自分から声をかけてみましょう。

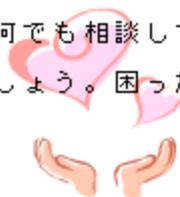
何かあつたら、
いつでも相談に
乗るよ！



友達のなやみのサインをキャッチしよう！

♡ なやみを聴こう

友達が安心してなやみを相談できる人間関係づくりが大切です。「いつも見守っているよ」、「何でも相談してね」というメッセージを送りましょう。困ったときに、友達だけでなく自分もSOSを出しやすくなります。



友達のSOSをキャッチして声をかけましょう。気持ちによりそいながら不安やなやみを聴きましょう。



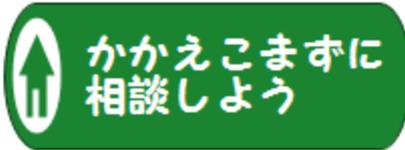
友達のなやみを聴くときは・・・

- まずは、ひていせずに話を聴きましょう。
- 相手の気持ちによりそい、理かいしましょう。「つらかったね」「がんばっているんだね」
- 支えたいという気持ちを伝えましょう。「一人じゃないよ」「いっしょに考えよう」
- 信らいできる大人につなげましょう。「君のことが心配だから、〇〇先生に相談しようよ」



インターネットを利用している人へ

安全せいや使い方について家の人とよく話し合い、はんざいにまきこまれないよう十分気を付けましょう。SNS等で知り合った人と会うことはきけんです。家庭でインターネットを使う上でのルールを決めたり、スマホ等をフィルタリングしたりして、安全に使いましょ。



不安やなやみがあったら、自分だけでかかえこまずに、友達や家の人、学校の先生に相談してみましょう。話すことで、気持ちが軽くなったり、かい決方法が見付かったりします。

自分一人でかかえこまずに相談しましょう！



もしも、不安やなやみ、こまったことがあったら・・・



一人でなやまないで、相談しよう！

学校や友達のことを家族とたくさん話しましょう。こまったときは、相談しましょう。



友達同士支え合ってすごそうね。何かあったら、おたがいに相談し合おうよ。



もちろん！



たんにんの先生だけでなく、ほかの先生もみんなのことを見守っています。なやんだら相談してください。



専門(せんもん)の相談機関も君たちをサポートします 群馬県では、不安やなやみの相談に乗っています！

ぐんまけん そうごう きょういく

群馬県総合教育センター

子ども教育・子育て相談

学校生活のこと、いじめ、不登校等について相談したい場合(高校生まで)

☎0270-26-9200
(月)～(金) 9:00～17:00
第2・第4(土) 9:00～15:00
※祝日および年末年始をのぞく

24時間子供SOSダイヤル

いじめについてきん急の相談をしたい場合
そのほかのことでSOSを出したい場合

☎0120-0-78310
24時間 通話料無料

ぐんまけん

群馬県こころの健康センター

相談ダイヤル

心の健康に関する相談をしたい場合
(医りょう機関への案内等もできます。)

☎027-263-1156
(月)～(金) 9:00～17:00
※祝日および年末年始をのぞく



ぐんまけん

群馬県中央児童相談所

こどもホットライン24

心配事や不安がある場合

☎0120-783-884
(ケイタイ電話からは) 027-263-1100
24時間 通話料無料

中央児童相談所

☎027-261-1000

中央児童相談所北部支所

☎0279-20-1010

西部児童相談所

☎027-322-2498

東部児童相談所

☎0276-31-3721

ぐんまけん けいさつ

群馬県警察本部生活安全部少年課

少年育成センター

いじめや不登校、友達とのトラブル等の
なやみを相談したい場合

☎027-221-1616
(月)～(金) 8:30～17:15 ※祝日をのぞく

ぐんまけん けいさつ

群馬県警察本部サイバー犯罪対策課 相談電話

インターネットを利用した犯罪ひがいにあった場合
☎080-2350-0001 (相談電話)
平日 8:30～17:15

メール: cyberpolice_gunma@docomo.ne.jp(24時間)

☎は、フリーダイヤルです。通話料は無料です。

大人は子供のサポーター！

子供たちの人間関係づくりを応援しましょう！

お子さんの顔を見て話したり、一緒に過ごしたりする時間が減っていませんか？仕事忙しい、家事に追われて、スマホの利用時間がい長くなり・・・その結果お子さんのSOSのサインを見逃しているということも。お子さんのいつもと違う様子には何らかの理由があります。悩みに気づき、サポートしていきましょう。



！ SOSに気付く

食欲がない

頭痛や腹痛などの不調を繰り返し訴える



朝、起きて来ない
起きられない

表情が暗く、
落ち込んでいる

いつもと様子が
違う

登校を渋る
ようになる

ぼんやりしている
ことが多い

急に甘えて
くる

イライラが
続いている

何か言いたそう
にしている



子供たちの悩みのサイン

子供が安心して悩みを相談できる環境づくりが大切です。「いつも見守っているよ」「何でも相談してね」というメッセージを送りましょう。

子供がインターネットを利用している場合、安全性や使い方について家庭でよく話し合しましょう。犯罪被害に遭わないよう、SNS等で知り合った人に会わない等のルールを決めたり、フィルタリングをしたりしましょう。



親子で家事をしたり、レクリエーションをしたりして絆を深めましょう。自然と会話が生れます。



♡ 子供を支える

子供のSOSをキャッチして声を掛けましょう。気持ちに寄り添いながら不安や悩みを聴きましょう。

SOS

子供の悩みを聴くときは・・・

- まずは、否定せずに話を聴きましょう。
- 子供の気持ちに寄り添い、理解しましょう。
「つらかったね」「がんばっているんだね」
- 支えたい、見守っているという気持ちを伝えましょう。「一人じゃないよ」「一緒に考えよう」「いつでも相談してね」





抱えこまずに 相談する

子育てに悩んだら、学校や専門機関に相談してみましょ
う。話すと解決の糸口に繋がったり、お子さんへの接し方
のヒントになったりします。

学校と家庭とで子供たちの人間関係づくりをサポートしていきましょう！



もしも、お子さんが人間関係のことで悩んでいたら…

学校にご相談ください。一緒に考えていきましょう！



それは心配で
したね。一緒
に考えていき
ましょう。

最近表情が暗いんです。友達関
係で悩んでいるみたいで……。
朝もなかなか起きなくなって。



お子さんにいつもと違う様
子が見られたり、お子さんから相談
を受けて悩んだりしたら、担任にご
相談ください。一人で抱え込まずに
一緒に考えていきましょう。

担任だけでなく、学年の教師、養
護教諭、生徒指導・教育相談担当、
スクールカウンセラーなども相談に
乗ります。学校と家庭で子供たちを
支えていきましょう。



専門の相談機関も保護者のみなさんをサポートします

群馬県では、保護者のみなさんの子育てを応援しています！

群馬県総合教育センター

子ども教育・子育て相談

乳幼児から高校生までのお子さんの
学校生活、いじめ、不登校等の教育
や子育てに関する相談をしたい場合

☎0270-26-9200
(月)～(金) 9:00～17:00
第2・第4(土) 9:00～15:00
※祝日及び年末年始を除く

24時間子供SOSダイヤル

いじめに関する緊急の相談及び子供の
SOS全般について相談したい場合

☎0120-0-78310
24時間 通話料無料

群馬県こころの健康センター

相談ダイヤル

お子さんやご自身の心の健康に
関する相談をしたい場合
(医療機関へのご案内等もできます。)
☎027-263-1156
(月)～(金) 9:00～17:00
※祝日及び年末年始を除く



群馬県中央児童相談所

こどもホットライン24

子育て中の心配事や不安について
相談したい場合

☎0120-783-884
(携帯電話からは) 027-263-1100
24時間 通話料無料

中央児童相談所

☎027-261-1000

中央児童相談所北部支所

☎0279-20-1010

西部児童相談所

☎027-322-2498

東部児童相談所

☎0276-31-3721

群馬県警察本部生活安全部少年課

少年育成センター

いじめや不登校、友達とのトラブル等、
お子さんに関する悩みを相談したい場合

☎027-221-1616
(月)～(金) 8:30～17:15 ※祝日を除く

群馬県警察本部サイバー犯罪対策課

相談電話

インターネットを利用した犯罪被害に遭った場合

☎080-2350-0001 (相談電話)
平日 8:30～17:15

メール: cyberpolice_gunma@docomo.ne.jp(24時間)